（第２号様式）

神奈川県教育委員会教育長　殿

令和３年４月 30 日

県立神奈川工業高等学校（定時制）

令和３年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	工業の専門性の向上を図り、実際的・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するための新しい教育課程を編成し、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。	生徒が落ち着いて学習に取り組める環境作りに努め、学び直しによる基礎学力と専門技術の定着を図り、確かな学力の向上を目指す。 組織的な授業改善に取り組み、生徒が自ら学ぶ姿勢を身に付け、学習意欲の向上につながる教科指導の充実を目指すとともに、オンライン授業の環境整備に努め、技術的な向上を目指した研修会等の充実を図る。	明確な授業ルールの策定やＴＴなどによるきめの細かい指導を行うとともに、習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図る。 双方向授業を展開し、自ら課題を発見し解決する力を育むため組織的な授業改善に努めるとともに、持続的な研修の開催により、情報機器の実践的な活用方法など、技術の習得を図る。	学習環境の整備を進め、生徒の学習意欲と学力の向上につなげ、生徒自らが課題に取り組み、解決する指導が実践できたか。 オンライン授業へ向けての環境を整え、わかりやすい授業を行うための技術や情報を共有することができたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①豊かな人間性の育成を図るとともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ②社会的・職業的に自立した人材の育成をめざす。 ③部活動の活性化を図る。	①個に応じた支援体制の充実をめざし、職員研修の充実を図る。 ①職員間の情報共有に基づいた生徒指導や食育指導により、心身ともに健康で、安全かつ安心して充実した学校生活が送れる環境づくりに努める。	①職員研修を実施し、心の健全・身体の安全等に関する支援スキルを向上し生徒理解を深める。 ①登下校指導、校外・校内巡視で得た情報を共有し、生徒指導に生かすとともに、食育教育に興味・関心を持たせる広報活動の充実を図る。	①生徒個々の理解を深め、個に応じた相談・支援を実践することができたか。 ①生徒指導の実践を通じ、生徒の日常行動・意識が向上したか。 ①喫食率が向上したか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（　月　日実施）	成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。	生徒の進路希望を実現するためのキャリア教育実践プログラムをより分かりやすく、活用しやすい形に整備する。 進路ガイダンス、ＬＨＲを活用し、年間を通して進路指導・支援の充実を図る。	生徒が進路実現のために身に付けるべき能力や知識を複合的に組み合わせたプログラムを作成するとともに、新たな取り組みも検討する。 グループと学年が連携をとり、適切な時期に生徒の実態に合わせた内容のガイダンス等を実施する。	生徒の進路実現のためのプログラムを構築することができたか。 進路ガイダンス及びＬＨＲについて、生徒にとって進路実現につなげる機会となったか。					
4	地域等との協働	地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	地域貢献清掃活動の定期的な実施を計画するとともに、地域行事への生徒参加を促す。 学校ＰＲに学校ホームページを活用し、中学生やその保護者等への情報の適切な発信に努める。	地域貢献清掃回数を増やし、地域のイベントに生徒が参加できる環境を作る。 学校ホームページの定期的な更新に努めるとともに、学校説明会等を通して、中学生や保護者等の本校への理解を深めさせる。	地域清掃活動の回数が増えたか、また地域活動に生徒が参加することができたか。 学校ホームページによる情報発信の効果や学校説明会等における本校への理解について、アンケートの回答に向上がみられたか。					
5	学校管理 学校運営	①事故防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ②生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①信頼される学校づくりを目指して事故防止に努めるとともに、生徒に防災意識を持って訓練に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ②会議や連絡事項について、職員連絡ツール(Teams)を活用して効率化を図り、生徒に向き合う時間を確保する。	①私費会計処理の適正処理を徹底するとともに、ＫＹ活動を毎月実施し、不祥事・事故の防止に全職員が取り組む。 ②職員連絡ツール(Teams)を活用し、職員間の連絡を効率よく行う。	①私費会計監査の指摘事項及び不祥事がゼロになったか。 ①年２回の避難訓練及びＤＩＧ訓練を実施できたか。 ②Teams を効率的に活用し、職員間での指示連絡が円滑に行えたか。					